

平成 27 年度（第 6 期）事業報告

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

目 次

1. 株式会社の現況に関する事項	
(1) 事業の経過及びその成果	1
(2) 取り組んだ主な事業	1
(3) 対処すべき課題と今後の方向性	4
(4) 資金調達等の状況	4
(5) 設備投資の状況	4
(6) 主要な事業内容	4
(7) 主要な営業所	4
(8) 使用人の状況	5
2. 株式に関する事項	5
3. 役員に関する事項	5

札幌駅前通まちづくり株式会社

1 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当事業年度における経営環境は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和政策を背景に円安・株高の傾向が続き、企業収益の向上や雇用情勢の改善など、緩やかな景気回復基調にあるものの、円安等による原材料価格の上昇等もあり、個人消費や設備投資は慎重な動きとなり、先行きはなお不透明な状況にあります。

札幌市においても、雇用情勢の回復やアジアを中心とする外国人観光客の増加など明るい兆しが見えつつありますが、長期的には人口減少と少子高齢化の進展傾向は続くことが予想され、都心のまちづくりにおいても、それを踏まえた取り組みが必要であると考えています。

このような状況の中、当社は、平成23年3月に開通した札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）の「地下広場」ならびに、平成26年7月に開業した地上の「札幌市北3条広場（アカプラ）」の指定管理者として、その管理・活用を行って参りました。

当事業年度は、地下広場指定管理業務の第2期スタートの年でありましたが、これまで培ったノウハウを活かし、アカプラを含めた地上・地下一体となった広場の利活用による賑わいの創出と都心の回遊性の向上に努めてきたところです。

「チ・カ・ホ」においては、広場の貸出度合を示す稼働率は平均で約95%に上り、前年度同様、高い稼働率を維持することが出来ました。

また、当事業年度から通年での稼働になったアカプラは、市民に親しまれている「道庁赤れんが庁舎」や「イチョウ並木」といった景観に配慮しつつ、市民や企業、行政の方々と共に、北海道の食や観光の促進、音楽やアートのイベントを多数開催し、都心部の貴重な広場としての活用を図って参りました。

これらのことから、当社の行った事業が、都心を訪れる市民や観光客の増加や大通地区と札幌駅前地区の回遊性の向上などに寄与しているものと考えているところです。

その結果、今期の事業収益については、前述した高い広場稼働率と、安定した壁面広告事業により、純利益金額は9,526千円となり、5期連続の黒字となりました。

(2) 取り組んだ主な事業

① 関係各所との連携による「まちづくり」の取り組み

・賑わいの創出

地域の賑わいや活性化等を目的に企業や町内会、行政等から構成されるまちづくり実行組織の「札幌駅前通地区活性化委員会」と連携して、特色あるイベントを実施するなどして地域のブランド力UPに努めました。

(SAPPORO FLOWER CARPET、さっぽろ八月祭、さっぽろユキテラス など)

・環境美化

古くから地域のコミュニティ組織として活動している「札幌駅前通振興会」

や町内会・近隣企業等と連携し、札幌駅前通の清掃活動（ツキイチ・クリーン）等を行いました。また札幌駅前通の放置自転車対策を兼ねた「フラワープランター」を設置しました。

・安心安全なまちづくり

平成27年3月に設立した「札幌駅前通地区防災協議会」の事務局として、チ・カ・ホに接続するビルの「接続マニュアル」の作成や避難訓練の実施等を行いました。

② 指定管理業務（「チ・カ・ホ」、「アカプラ」）を中心とする取り組み

札幌市および関係機関と広場の運営・管理についての協議を行いながら、以下の事業を行い、都心の賑わいの創出等に努めました。

●札幌駅前通地下広場「チ・カ・ホ」

○活用内容

- ・「都心の回遊性、活性化」の促進

チカチカ☆パフォーマンススポットの実施、kurache（クラシェ）の開催、チ・カ・ホ音楽ライブ（クラシック、ジャズ等）の開催、
「チ・カ・ホ詳細MAP（外国語版）」の制作・発行

- ・「都心ビジネスパーソンへの快適な日常」の提供

休憩スペースの充実化、「チ・カ・ホ wi-fi」の設置・運用

- ・「さっぽろ・北海道の魅力発信」の推進

道内観光・魅力発信PR展の実施（北海道新幹線開業PRなど）、
北海道イベントインフォメーションボードの設置・運用

- ・「季節等のイベント」の実施・協力

札幌デザインウィーク、さっぽろ菊まつり、さっぽろアートステージ、
チ・カ・ホのお正月、さっぽろ雪めぐり回廊など

○広場の貸出サービス

「交差点広場」や「憩いの空間」の貸出促進及び活用支援、
広場の活用の促進、情報提供機能のUP（ホームページの変更・更新）

○環境等の配慮

案内所の設置（ビッグイシューさっぽろとの連携）、植栽の設置、
周囲のデザインと調和した“デザインテーブル”（販売什器）の制作・貸出

○運営・管理について

「チ・カ・ホ」に適した展示・出店デザイン、ルール等の検討・指導、
札幌駅前通地下広場運営協議会の開催

●札幌市北3条広場「アカプラ」

「道庁赤れんが庁舎」や「イチョウ並木」の景観に配慮しつつ、地上の賑わいの拠点としての活用を図りました。

- 景観に配慮した広場の活用検討・実施
 - ・「アカプラ利用の手引き」の作成
 - ・「サッポロフラワーカーペット 2015」の開催、
 - ・「さっぽろ八月祭 2015」の開催
- 地域資源を活用した文化の発信（「創造都市さっぽろ」の推進等）
 - ・「さっぽろユキテラス 2016」の開催

③ エリアマネジメントの基盤を固める取組み

・エリアマネジメント広告

「チ・カ・ホ」の壁面を活用して企業等の広告を掲出。賑わいの創出に努めました。

広告稼働率：短期枠（1週間単位）… 実績 87%（目標 85%）

長期枠（3ヶ月単位）… 実績 100%（目標 100%）

（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

・将来を見据えた指定管理以外の事業の検討

都心部に多様な人材や情報、資金を惹きつけ、エリアの空間や機能、活動が新規創業や既存ビジネスの活性化を支えるためには、「エリアの価値」を高めている戦略的な取り組みが必要とされます。

そのために当社は「世話役・つなぎ役」としての役割を担い、これまでの公共空間の管理に加え、民間と公共をつなぐ領域づくりのために、コーディネート業務を行い、戦略的なエリアマネジメントを実践していくための仕組みづくりを当事業年度検討しました。またこうした検討結果を報告するシンポジウムも実施いたしました（エリアビジョン）。

・エリアマネジメントのあり方や広場の活用についての他都市との交流・研究

全国各地でエリアマネジメントを実践している団体が、今後更に連携して取り組むために横断的な組織を立ち上げるための研究会（全国エリアマネジメントネットワーク設立準備委員会）を共同で設立し、第 1 回目のシンポジウムを当社主催で札幌にて開催しました（平成 27 年 9 月）。

④ 地域資源を活用した文化の発信等の取組み

・公共空間のあり方を考えるアート展示とワークショップの開催

主催事業として、Public Art Research Center [PARC]、北から暮しの工芸祭、学生展、Good Design in チ・カ・ホなどを開催しました。

・「全市的な季節のイベント」等の実施・協力

札幌デザインウィーク、さっぽろ菊まつり、さっぽろアートステージ、さっぽろ雪めぐり回廊等への協力・支援を行いました。

・「テラス計画」の活用促進

都心の新たな交流の「場」となる札幌三井 JP ビルディング内にある眺望ギャラリー「テラス計画」では、展示（年 11 回）とまちの未来を考えるトークシリーズ

「Meeting Point」を実施しました。

(3) 対処すべき課題と今後の方向性

当社が目的とする「都心の賑わいづくり」、「文化の香りがする都心づくり」、「市民協働の推進」、「駅前通地区・札幌・北海道の魅力発信」を行うためには、「チ・カ・ホ」ばかりではなく、地上部の賑わいの創出や駐輪対策など、「まちづくり」全般に関して地上・地下一体となった対応が求められます。

このような観点から、「チ・カ・ホ」及び「アカプラ」の有効活用を図るとともに、地域全体のまちづくり課題を見据えて、地域の関係者から構成される「札幌駅前通振興会」等との連携を深め、目的の達成につながる地域イベントの実施や環境美化、安心安全なまちづくり活動に努めたいと考えています。

また、当該事業の実施に際しては、会社の適切な運営、収益の安定化が求められることから、これまで以上に経費の省力化、業務効率の向上などに努めてまいりたいと考えています。

(4) 資金調達等の状況

該当事項はありません

(5) 設備投資の状況

当期の設備投資の状況は、総額で9,965千円となりました。

主な内訳は次の通りです。

建物	建物付属設備	工具器具備品
3,441千円	1,086千円	5,438千円

(6) 主要な事業内容

- ・札幌駅前通地区でのまちづくり活動及び札幌都心部他地区におけるまちづくり活動との連携調整に関する業務
- ・札幌駅前通地下歩行空間（地下広場）および札幌市北3条広場の管理運営の受託に関する業務
- ・地域の活性化を図るための事業企画、立案、コンサルティングおよびその受託に関する業務

(7) 主要な営業所

本社 札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌駅前藤井ビル8F
(入居ビル建替のため、平成28年2月22日より上記に移転)

(8) 使用人の状況

平成28年3月31日 現在

使用人	平均年齢	平均勤続年数
9人	39.2歳	4年3ヶ月

2 株式に関する事項

- (1) 発行可能株式数 1,000株
- (2) 発行済株式の総数 198株
- (3) 当事業年度末の株主数 17名

3. 役員に関する事項

平成28年3月31日 現在

役職名	氏名	他の法人等の代表状況
代表取締役会長	中村 達也	株式会社敷島屋 代表取締役社長
代表取締役社長	白鳥 健志	(常勤)
取締役	柴田 隆行	株式会社伊藤組 代表取締役副社長
取締役	加藤 俊郎	株式会社加藤物産館
取締役	石塚 雅明	株式会社石塚計画デザイン事務所 代表取締役
取締役	越山 友直	有限会社越山ビルディングズ 代表取締役会長
取締役	石水 創	石屋製菓株式会社 代表取締役社長
監査役	小林 良輔	株式会社北洋銀行 常務執行役員 公務金融部長
監査役	広部 公聡	株式会社北海道銀行 地域振興公務部長

注) 1 (代表取締役会長) 中村達也氏、(取締役) 柴田隆行氏、加藤俊郎氏、石塚雅明氏、越山友直氏、石水創氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

2 (監査役) 小林良輔氏、広部公聡氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。